



Kyusyu
Burakukaiho
Jinken Daigaku

九州部落解放・ 人権大学(第一期)

不可侵 不可侮

「不可侵、不可被侵」 松本治一郎書(加工)

「九州部落解放・人権大学」推進委員会

〒812-0044 福岡市博多区千代 1-29-12 (一財)福岡県部落解放センター内

TEL/FAX 092-408-9079

Mail kaiho.jdai@gmail.com

「九州部落解放・人権大学」設立の趣旨

学 長 横田耕一（九州大学名誉教授）

理事長 組坂繁之（部落解放同盟九州地方協議会議長）

（反差別国際運動共同代表理事）

九州における人権確立のための運動は、戦前戦後を通じて被差別部落の当事者による並々ならぬ行動力の上に構築されてきました。1922年3月3日の全国水平社の創立からわずか1年後の1923年5月1日には、福岡県の花山清や柴田啓蔵たちの活動と後に解放の父と言われる松本治一郎の尽力により、福岡市において全九州水平社創立大会が開かれました。福岡における全九州水平社の創立は、思いを同じくする九州各地の水平社創立につながりました。

以後、全九州水平社は農民運動や労働運動と連携し、生活闘争、政治闘争を展開していきました。優れた先達・指導者たちの全九州水平社による水平運動は、戦後は部落解放運動へと引き継がれて、反差別の人権確立の理論と実践のもと人権社会実現への道を着実に築いてきました。

部落差別の解消を目途として推進された同和対策事業関連法の失効とともに、国連の「21世紀を人権の世紀に」の提唱による国際的な人権確立の考え方が取り入れられていく中で、2000年には「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行され、教育機関だけではなく多くの団体や組織・機関において様々な人権教育・啓発の取組が展開されるようになりました。

しかし、そのような中で、インターネット空間でのプライバシー侵害や誹謗中傷行為の横行、教育現場での同和教育の形骸化や後退等、部落差別の解消に反する様々な問題が顕著になってきました。このような状況の中2016年「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。部落差別は解消に向かいつつも厳然として存在していることをこの法律は明らかにしました。

今日、インターネットは「寝た子を、悪意を持って偏見で起こす」という新たな差別のツールとして悪用されています。また、このような新たな差別の態様に対して、市民への人権・同和問題にかかる啓発内容の多様化や、その啓発を推進する次世代の人材育成などの問題も喫緊の課題となっています。

標記の「九州部落解放・人権大学」は、先達・指導者たちが積み上げてきた解放の理論と実践を継承し、さらに積み上げるべく、九州各地の次世代の教育・啓発の牽引者となる人たちに、人権関連法、人権に関する国際的動向、人権を取り巻く実態等について統合的・体系的・科学的にアプローチして人権社会の確立に向けた学習の機会を提供する場として設立するものです。

九州各地の大学の先生方や研究者等を招き、2ヶ月毎に1泊2日全5回20講座を実施します。また、市民・労働者、学生等を対象に公開講座を実施します。

「九州部落解放・人権大学」講座の実施について

2025 年 5 月から下記の要領で、「九州部落解放・人権大学」講座を実施する。

(1) 「九州部落解放・人権大学」講座の目的

「九州部落解放・人権大学」設立の主旨により、人権確立社会の構築に向けた人権・部落解放運動の推進を担う者に労働と人権に係る社会的情勢等に関する学習の機会を提供する。

(2) 参加対象者 (40 名)

- ① 九州各地の次世代の部落解放運動および教育啓発を担う者で、所属組織等からの推薦を受けた者
- ② 人権教育・啓発に取り組む、または、関心を持つ機関・団体の所属者、市民、学生等で、「九州部落解放・人権大学」への入学を希望する者

(3) 参加要領

- ① 日時 : 下記期日、受付 13:00、開講 14:00、二日目 12:00 解散
- ② 場所 : 福岡県自治研修センター (大野城市大字乙金 8 番地 1)
- ③ 参加者数 : 推進委員会が入学を許可する 40 名 (原則宿泊)
- ④ 受講費 : 3 万円 (全 5 回 20 講座の受講費、第 1 回開催時一括徴収)
- ⑤ 参加費 : 各回 6,000 円 (宿泊費、夕食代、朝食代、懇親会 2 回分を含む)

(4) 2025 年度 開催期日 (隔月第 3 土曜日・日曜日、第 5 回のみ第 4 土日)

- 第 1 回 2025 年 5 月 17 日 (土) - 18 日 (日) 講座①②③④、開校式、懇親会
第 2 回 2025 年 7 月 19 日 (土) - 20 日 (日) 講座⑤⑥⑦⑧、夕食 (兼交流会)
第 3 回 2025 年 9 月 20 日 (土) - 21 日 (日) 講座⑨⑩⑪⑫、夕食 (兼交流会)
第 4 回 2025 年 11 月 15 日 (土) - 16 日 (日) 講座⑬⑭⑮⑯、夕食 (兼交流会)
第 5 回 2026 年 1 月 24 日 (土) - 25 日 (日) 講座⑰⑱⑲⑳、懇親会、閉校式

(5) 日程等について

【一日目】 (※第 1 回は開校式を行うため講座①②は 80 分)

13:00	13:30	15:10	15:20	17:00	18:00	20:00
受付	講座① (100分)	休憩	講座② (100分)	休憩 (チェックイン)	夕食 (兼交流会)	

【二日目】

7:30	9:00	10:20	10:30	11:50	12:00
朝食 (チェックアウト)	講座③ (80分)	休憩	講座④ (80分)	連絡・解散	

「九州部落解放・人権大学」第1期カリキュラム

第3 土日	講座① 13:30～(100分)	講座② 15:20～(100分)	講座③ 9:00～(80分)	講座④ 10:30～(80分)
5月	私と解放運動 (80分)	松本治一郎をはじめ とする、九州の解放 運動の先達 (80分)	国しくみと人権①	国のしくみと人権②
17日 ①②	組坂繁之	森山沾一	横田耕一	横田耕一
18日 ③④	九州部落解放・人権 大学理事長 反差別国際運動共 同代表理事	九州部落解放・人権 大学副学長 福岡県立大学名誉教 授	九州部落解放・人権 大学学長 九州大学名誉教授	九州部落解放・人権 大学学長 九州大学名誉教授
7月	安全保障政策(防衛 三文書)と私たちの 暮らし	差別の構造 部落差別と水俣病差 別	司法制度と冤罪	被差別民衆の歴史 ①近世
19日 ①②	城野一憲	花田昌宜	内山真由美	中村久子 九州部落解放・人権 大学理事
20日 ③④	福岡大学法学部准 教授	熊本学園大学社会福 祉学部教授 水俣学	佐賀大学経済学部教 授 刑事法学	佐賀部落解放研究所 理事
9月	雇用環境の変化と 格差の問題	生活困窮問題と人権	日本のフェミニズム 運動	被差別民衆の歴史 ②近世(福岡有馬藩 宝暦一揆)
20日 ①②	有田謙司	堤圭史郎	木下直子	堀田秀茂 久留米市北野町郷土 史家
21日 ③④	西南学院大学法学 部教授	福岡県立大学人間社 会学部教授	長崎大学ダイバーシ ティ推進センター准 教授	組坂繁之 九州部落解放・人権 大学理事長
11月	日米地位協定と人 権	被差別民衆の歴史 ③近現代(解放令～ 水平社創立まで)	子どもの人権 子ども支援のあり方 と社会保障	同和教育の現状と課 題
15日 ①②	城野一憲	矢野治世美	平部康子	ハヤシザキカズヒコ
16日 ③④	福岡大学法学部准 教授	熊本学園大学社会福 祉学部准教授	佐賀大学経済学部教 授	福岡教育大学教育学 部准教授
1月	人権確立社会へ ヘイトスピーチと 人権	被差別民衆の歴史 ④近現代(戦後社会 と部落問題)	外国人労働者問題と 人権(100分)	グループ協議 閉校式
24日 ①②	奈須祐治	矢野治世美	吉田 舞	まよめの講座
25日 ③④	西南学院大学法学 部教授	熊本学園大学社会福 祉学部准教授	北九州大学法学部准 教授	

各講座の主な内容（事務局作成）

- 1 「私と解放運動」（組坂繁之）
 - ・ 幼少期の被差別経験や青年期の解放運動との出会い、今後の展望等について話してもらいます。
- 2 「松本治一郎をはじめとする、九州の解放運動の先達」（森山沾一）
 - ・ 「解放の父」と評される松本治一郎と、氏に繋がる九州の解放運動家たちの足跡を話してもらいます。
- 3 「憲法の仕組みと人権①②」（横田耕一）
 - ・ 日本国憲法の人権条項の誕生と、その適用上の問題等について話してもらいます。
- 4 「安全保障政策と私たちの暮らし①」、「日米地位協定と人権②」（城野一憲）
 - ・ アメリカの世界戦略に私たちの国がどう組み入れられていっているか、治外法権に等しい「日米地位協定」が、沖縄県民だけではなく私たちの人権にどう関わっているかについて話してもらいます。
- 5 「差別の構造－部落差別と水俣病差別－」（花田昌宜）
 - ・ 企業（経済）優先で造られていく地域社会の中に生起する差別の仕組みについて話してもらいます。
- 6 「司法制度と冤罪」（内山真由美）
 - ・ 次々に起こされる再審請求、なかなか進まない再審裁判、何が問題なのかについて話してもらいます。
- 7 「被差別民衆の歴史①近世」（中村久子）
 - ・ 江戸時代の身分の取り扱いの実態や、被差別民衆の生活・役目等について話してもらいます。
- 8 「雇用環境の変化と格差の問題」（有田謙司）
 - ・ 非正規で働く労働者を大量に生み出した労働者派遣法と創られていく格差について話してもらいます。
- 9 「生活困窮問題と人権」（堤圭史郎）
 - ・ 就労形態と福祉制度が引き起こしている生活困窮の問題について人権の視点から話してもらいます。
- 10 「同和教育の現状と課題」（ハヤシザキカズヒコ）
 - ・ 同和教育に関わってきた人・関わっている人への聞き取りから現状と課題について話してもらいます。
- 11 「被差別民衆の歴史②近世」（堀田秀茂・組坂繁之）
 - ・ 武士支配の仕組みについて、有馬藩宝暦一揆を例に利用された被差別民衆について話してもらいます。
- 12 「被差別民衆の歴史③④近現代」（矢野治世美）
 - ・ 学校教育の中であまり扱われることのない「解放令から水平社創立まで」の間に何があったか、「戦後社会と部落問題」について話してもらいます。
- 13 「子どもの人権」（平部康子）
 - ・ 子どもの貧困防止法、子ども基本法が制定されました。子どもの人権の現状と支援の在り方、社会保障について話してもらいます。
- 14 「外国人労働者問題と人権」（吉田 舞）
 - ・ 外国人労働者がいないと立ちいかなくなっている社会の現状と、彼らに起きている人権問題について話してもらいます。
- 15 「人権確立の社会へ」（奈須祐治）
 - ・ 平穏な社会を壊してしまうヘイトスピーチの実態と私たちの人権への関りについて話してもらいます。
- 16 「日本のフェミニズム運動」（木下直子）
 - ・ 根強い性別役割分担意識の歴史的な形成過程や女性の人権獲得の運動等について話してもらいます。

研修場所およびアクセスについて

【研修場所】 福岡県自治研修センター（まなびのやど福岡）
福岡県大野城市大字乙金 8-1

【宿泊について】 部屋は2人部屋になります
(チェックイン 16:00~21:00 チェックアウト 7:00~10:00)

【アクセス】

○車で来所の場合 ・九州自動車道「太宰府インター」から約10分（下の地図参照）
 ・福岡都市高速道路「大野城出入口」から約15分

○タクシーで来所の場合 ・西鉄天神大牟田線「白木原駅」から約10分
 ・JR 鹿児島本線「大野城駅」から約12分

○公共交通機関で来所の場合（退所の場合は、この逆）

A：西鉄天神大牟田線「白木原駅」の最寄りのバス停

バス停「西鉄白木原駅」または「白木原1丁目」で「大野城市コミュニティバスまどか号 ③ 大城ルート」に乗車、「バス停18番 総合公園入口」下車 → 徒歩

B：JR 鹿児島本線「大野城駅」の最寄りのバス停

JR 鹿児島本線「大野城駅東口」を出て、バス停「JR 大野城駅」でまどか号「③ 大城ルート」に乗車、「バス停18番 総合公園入口」下車 → 徒歩

土・日	(2025年2月1日現在)				
バス停	JR 大野城	西鉄 白木原	白木原 1丁目	総合公園入口 (バス停No.⑬)	自治研修 センター
来所①	12:00	12:02	12:03	12:19	—
来所②	12:30	12:32	12:33	12:49	—
退所①	12:48	12:43	12:41	12:19	—
退所②	13:18	13:13	13:11	12:49	—

